



累計受賞作品100作品超！

キッズデザイン賞にて「受賞100作品超企業特別表彰」を受賞

株式会社ジャクエツ（本社：福井県敦賀市／代表取締役社長：徳本達郎）は、特定非営利活動法人キッズデザイン協議会が主催のキッズデザイン賞（後援：経済産業省・内閣府・消費者庁・こども家庭庁・東京都）において、第1回（2007年度）から第20回（2026年度）までの累計受賞作品数が100作品を超えた企業を対象とする「受賞100作品超企業特別表彰」を受賞しました。



弊社は、2007年度の第1回キッズデザイン賞から今日まで、あそびを取り巻く環境や社会課題に向き合い、時代とともに活動の領域を広げてきました。

これまでの受賞は、子どもの安全・安心への取り組みをはじめ、遊具や製品の開発だけでなく、園舎・公共空間などの建築設計、専門家と協働して行う調査・研究など、多岐にわたります。

2023年度（第17回）には、「障がいの有無に関わらず誰もが遊ぶことができる遊具」の開発を、医療と遊具の分野を越えて実現したプロジェクト「RESILIENCE PLAYGROUND」が、審査委員長特別賞を受賞しました。

近年では、2025年度（第19回）に受賞した福井市中央公園「しろっぱ」や、2026年度（第20回）に受賞した屋内こども広場「まちなかの森 もっくる」など、子どもだけでなく、さまざまな年代の人々がともに集い交流できる共遊空間づくりにも取り組んでいます。

キッズデザイン賞とは

キッズデザイン賞は、「子ども自らが次の社会づくりに参画する」「子どもたちが感性や創造性豊かに育つ」「子どもたちが安全・安心に日々を暮らせる」「誰もが当事者として子育てに参加する」という目的を満たす、製品・サービス・空間・活動・研究の中から優れた作品を選び、広く社会に発信していくことを目的に2007年に創設されました。子ども用にデザインされたものはもちろん、大人・一般向けに開発されたものでも、子どもや子育てに配慮されたデザインであればすべてが対象です。

キッズデザイン協議会とは

キッズデザイン協議会は、次世代を担う子どもたちの安全・安心の向上と、健やかな成長発達につながる社会環境の創出のためにさまざまな企業・団体が業種を超えて集い合うNPO法人です。

設立年月日：2007年4月2日

会長：坂井和則（TOPPANホールディングス株式会社取締役副社長執行役員CHRO／TOPPAN株式会社取締役）

【株式会社ジャクエツ】

1916年創業。「未来は、あそびの中に。」をスローガンに掲げ、企画・コンサルティングから設計、施工、運営管理まで、地域社会や施設の課題解決に向けたサービスをワンストップで提供する。近年は包括連携協定の締結やPark-PFI事業への参入など、あそびの視点を活かしたまちづくりに取り組む。質の高いあそびの環境をデザインすることで、子どもたちの成長とともに大きく花開いていく「未来価値」を創造し続ける。

【お問い合わせ】

株式会社ジャクエツ

東京都港区高輪4丁目24-50

TEL:03-3442-2260／FAX:03-3442-2261

MAIL:press@jakuets.co.jp

広報担当者にご連絡ください。